

**(永島議員)**

私は令和6年3月の予算特別委員会で、県庁の顔とも言えるホームページにおいて、当時、リンク切れのエラーを表すページが閲覧中に散見されたことから、県庁ホームページの情報管理について質しました。



当時の答弁では、「今後県ホームページ全体の見直しを実施する際には、ホームページシステムの中で、自動的にリンク切れを発見し、すぐに各所属に通知する仕組みを構築することなど、検討していく」とありました。

そこで伺います。

まず、リンク切れが発生してきた現状に対し、これまでどのように対応してきたのかお聞かせ下さい。

**(県民情報広報課長)**

年に1回、県民情報広報課及び情報政策課の連名で、各所属に対し、各自が作成したページに関して、リンク切れを含めた掲載内容が適切であるかの総点検を実施しています。

特に、リンク切れに関しては、この総点検に加えて、四半期ごとにも確認や

修正を指示することにより、点検の頻度を高めているところです。また、リンク切れの対応は、日頃からの点検が重要であることから、各部の主管課長や企画広報主幹を通じて、各所属に定期的な点検の実施を促しています。

点検実施に当たっては、大量にあるページの中から、各所属が効率的に作業を行うことができるよう、リンク切れが発生しているページを一覧化して、情報提供を行っています。

こうした重層的な取組により、リンク切れ対策を徹底しているところです。

(永島議員)

次に、リンク切れに対応する仕組みについて、その後の検討状況はどうなったのかお尋ねします。

(県民情報広報課長)

先ほど申し上げた通り、各所属による定期的なリンク切れの点検を徹底しているところですが、点検の頻度には限界があります。また、県民の皆様が、必要とする情報を確実に入手できるようにするためには、リンク切れが発生してから対応するだけでなく、そもそもリンク切れが発生しないような仕組みも必要であると考えています。

このため、リンク切れに関して、各所属が実効性のある対応が行えるよう、県民情報広報課及び情報政策課において、技術的にどのような対応が可能なのか、また、管理・運用方法、これらに伴う経費などの点を踏まえ、システムの改修を検討してきたところです。

(永島議員)

では、県庁ホームページシステムはいつ見直しをされるのかお伺いします。

(県民情報広報課長)

現在、情報政策課において、改修作業を進めているところであり、実際の運

用開始は、来年度のできるだけ早い時期を見込んでいるところです。

(永島議員)

新たな県庁ホームページシステムがどうアップグレードされるのか、併せて、リンク切れは改善されるのかお示してください。

(情報政策課長)

新たな県ホームページシステムでは、公開期間終了を迎えリンク切れとなる見込みのページについても事前に把握できる仕組みを取り入れる予定です。

加えて、県ホームページの中に外部ホームページのリンクの情報があるものについても、リンク切れが発生していないか、自動的に把握できるような仕組みを検討しています。

これらにより、県ホームページ間のリンク切れに対する計画的な対応や、外部ホームページへのリンク切れの早期発見が可能となり、リンク切れへの大幅な改善が期待できます。

(永島議員)

これまでエラーが散見されたので新システムに期待したいと思います。最後に、部長の決意をお伺いします。

(企画地域振興部長)

県のホームページでは、県民の皆様が必要な情報を入手できるよう、正確かつ最新の情報を提供する必要があると考えています。

委員ご指摘の期限切れの情報掲載やリンク切れの防止については、これまで各所属に対し、年1回の総点検や四半期毎の確認はもとより、日頃からの点検をお願いし、県民情報広報課としてもその確認を行ってきたところです。

リンク切れについては、先ほど課長から説明したように、現在、県ホームページのシステム改修を行っているところであり、公開期間終了を迎えリンク切

れとなる見込みのページについても事前に把握できる仕組みを取り入れる予定です。

この新たな仕組みを活用し、リンク切れの未然防止や早期発見に取り組むことにより、適切な情報発信に努めてまいります。